



川面を照らしながら流れる万灯

新津区の「万灯流し」が8月24日、大屋川の新津橋付近で行われました。これは、同区に古くから伝わる精霊送りの行事で、麦ワラで作った長さ7尺、高さ5尺もある船を燃やして川に流すものです。当日は、川岸や橋の上から大勢の人が見守る中、地区の人たち10数人が万灯を川に入れ、ワラの帆に点灯。万灯は瞬く間に火柱をあげ、赤々と川面を照らしながらゆつくりと地区の境界まで流れました。

赤々と川面を照らしながら 新津区の万灯流し



「大杉」勇壮 「若杉」優雅に 大屋町の「大杉ざんざこ踊」「若杉ざんざか踊」

伝統ある大杉ざんざこ踊と若杉ざんざか踊が8月16日、それぞれ二宮神社と三柱神社で奉納され、お盆の帰省客や観光客でにぎわいました。大杉ざんざこ踊は、別名「鬼踊り」と呼ばれ、シデを背中にした4人の中踊りを中心に、その周りを大きな輪を描きながらダイナミックに踊ります。

一方、若杉ざんざか踊は、別名「姫踊り」と呼ばれ、色鮮やかな衣装と花笠をまとった踊り手が穏やかなリズムで優雅な舞いを披露しました。



▲若杉ざんざか踊の優雅な踊り



▶大杉ざんざこ踊の力強い踊り

新校舎で2学期をスタート 高柳小学校新校舎が完成

建設を進めていた高柳小学校新校舎がこのたび完成し、9月1日に新校舎玄関前で入校式が行われました。

式典では、児童会長の中島理沙子さんが「こんな素晴らしい校舎で勉強できることに感謝します。旧校舎での思い出を胸に、新校舎での歴史を築いていきます」とあいさつした後、中村晴敏校長らとともに完成を祝うテープカットを行い、新校舎で過ごす2学期がスタートしました。

高柳小学校新校舎は、福祉・環境教育を推進するためエレベーターと太陽光発電を導入、多様な授業形態に対応するためワークスペースなどを採用しています。また、地域に学校を開放するため、多目的ホールや会議室なども整備されています。



児童が見守る中でテープカット